

大村市在宅ケアセミナーだより

第148号 令和2年1月 発行元：〒856-0832 長崎県大村市本町458番地2 プラットおおむら
(一社)大村市医師会大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL：0957-54-0151

令和元年度メインテーマ『市民と繋がる、市民を支える架け橋となる～地域資源として出来ること』

第165回 大村市在宅ケアセミナーのご案内

日時：令和2年1月16日(木) 18:45～20:00

場所：大村市医師会館(協和町) 講堂



内容：『風邪ってどうする?』



講師：長崎医療センター

総合診療科 山元 暢先生



セミナー終了後 会員交流会 会費 1,000円

⇒20:00 頃から開始予定。

会員相互の交流会の場です。たくさんの参加をお待ちしております♪

今までの夏越まつりや市民公開講座『劇』のダイジェストのスライドショーがあります。



※駐車場に限りがございますので、乗り合わせてご参加下さい

納入をお願い致します。

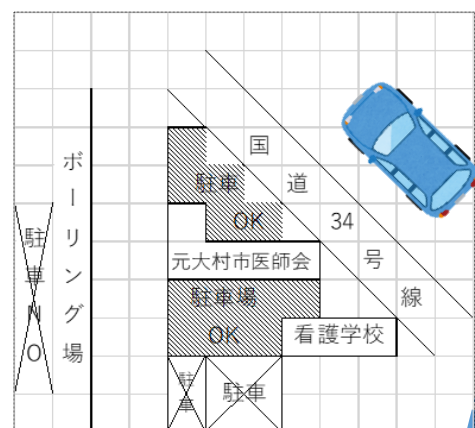
- セミナー受講の際は、会員証を受付で必ずご提示下さい。(平成30年度 会員 359名)
- 大村市医師会のホームページにてセミナーだよりを掲載しております。便りの郵送不要の方はご連絡下さい。

お申し込みの際に、
メールアドレスを
ご記入して頂くと
ご案内が届きます！
ぜひメールで♪



駐車場のお知らせ

医師会の駐車場は
玄関前の駐車場と裏の駐車場のみ
です。よろしくお願いいたします。



第164回大村市在宅ケアセミナー開催報告

日時：令和元年11月21日（木）18：45～20：30
場所：大村市コミュニティーセンター2階 第3・4会議室
内容：『災害時の事業所の役割と災害対策について』
講師：一般社団法人 長崎市医師会
長崎市保健福祉センター
主任介護支援専門員 馬場 大輔 先生

参加者：82名（当日入会16名、内 新規入会4名）



ご感想

たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

- 居宅サービス計画書に災害所記入は本人や家族と周りのスタッフの意識付けにつながるのでは有効だと思った。また災害時の自助対策（家族との取り決め）の大切さや福祉避難所と避難所の違いも分かりやすく、とても防災の意識付けになりました。馬場先生、ありがとうございました。
- 本日はとても貴重なお話をありがとうございました。私達が住む大村市は災害が少ない地域になりますので皆平和ボケしている方が多く身につまされるお話でした。でも大村市でも活断層は数箇所ありますし台風や水害等起こりうる可能性は充分にあると思います。今からできる事に取り組んでいきたいと思います。
- 講師の先生の話聞き、今できる事が日頃多くあるなあと感じました。事業所内でも話を行い災害に少しでも強い事業所になれるよう整備できることは整備していきたいと思いました。分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 福祉避難所の存在を知らなかったの、一度HPを見て確認しておきたいと思いました。
- 災害がまさか起きないだろうと思ってしまっているところがあり日頃からの準備が足りないと感じた。医療職でありながら福祉避難所の存在を知らなかった。
- 他人事としてではなく自分の事として捉えなければと日頃思いつつもなかなか難しく出来ていないです。
- 有事の際に備えた職員の意識の統一を図ると共に今日のキーワード、自助・紙ベースを伝えるミーティングをすぐに行おうと思います。
- 災害は平等、被害は不平等と言われる通り、平常時より考えておく事が大切なのだと感じました。
- 災害時における紙ベースで利用者情報の保管の必要性の確認が出来ました。また情報を見直していきたいと思います。
- 大村市は災害が少ない為、市をはじめ住民も災害に対しての危機感が無い様に思える。福祉事業者及び関係するすべての職種において災害に対する備えが必要であると改めて思いました。
- 災害はどこでも起こると知っていながらも、どこか他人事のように感じてしまいます。自分自身の事としてもっと考え対策をとっていかねばならないと思いました。
- 家庭をもっているスタッフばかりなので職員間の連絡、行動を確認しあう必要があると感じた。
- 災害支援ケアマネージャーという種類があるのを初めて知りました。
- 講師の動機として“災害時にケアマネとして何が出来るか”と言う思考が素晴らしいと思いました。日頃からの構えや取り決め必要性を感じ自分の中で心の準備や構えに取りかかる機会となりました。ありがとうございました。

馬場先生にご回答をいただきました

- 災害訓練（水害、地震、停電、断水）の実際行う訓練方法（効果的な）はどのようにしたらよいか聞きたい。
→ とても難しい質問です。皆さまの事業所やサービス種別も様々ですので、具体的に形があるものではありません。実際の有事をイメージしながらの「訓練」を想定して頂ければ良いと思います。
- 計画書に災害時の内容を入れている。とありますが長崎市ではルール化していますか？もしルール化でなければどのくらい反映している状況ですか？
→ 長崎市でのルール化はありません。ケアマネージャー協会での研修で「避難所の明記」について周知した程度で、その研修の受講者が知っている、その範囲です。ここから徐々に発展して欲しい・・・残念ながらその程度でしかありません。
- 事業所のスタッフ同士の連携の取り方（担当ケースの情報交換）等々はどのような方法がありますか？
→ 馬場所属の長崎市医師会では・・・
週1回事業所内でミーティングを行っています。法人の考え方も様々かもしれませんが、利用者は「担当ケアマネージャーとの契約」ではなく、「事業所と利用者の契約」というスタンスの下で、担当者のみがケースを知っているのではなく、事業所内で共有する・・・そのように取り組んでおります。他の事業所では管理者が全ケースを把握しているという取り組みも聞かれています。これは災害時に限ったことではなく、担当者が突然病欠する等のこともあるかもしれません。不在になったからと「対応ができない」なんて事に陥らない為にも、日頃からの取り組みが大切だと思います。